

世界の王宮前広場の概要

番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
1	タイ王国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：立憲君主制(ラーマ10世) ・首都：バンコック ・名称：The Grand Palace of Thailand ・場所：Phra Nakhon Bangkok(中心地) ・概要：現在の国王は王宮に居住せず。歴代の国王が居住した記念館・博物館として、日中、国民は無料で、外国人は有料で見学できる。 ・広場：王宮北側にサナム・ルアン王宮前広場がある。 	<p>名称：サナム・ルアン王宮前広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・王宮の北側にある、平らで広大な芝生の広場。 ・王族の誕生祝いや葬儀、迎賓式典、新年の祝いなど国家行事が催されるほか、さまざまなイベントの舞台としても使われる。 ・普段は一般に開放されており、市民や外国人観光客の憩いの場となっている。 ・2006年には世界民族博覧会が開かれた。 ・当局の許可を得て、宗教的な催し、政治的集会の他コンサート、その他毎年恒例の3月の凧揚げ祭りなどのイベントが開かれることがある。 ・都心部の広場・公園として市民や観光客の憩いの場となっている。 ・周囲の道路では、夜間多くの屋台が出るナイトマーケットも開かれている。 		<p>https://www.google.com/maps/place/%E3%82%B5%E3%83%8A%E3%83%BC%E3%83%A0%E3%83%BB%E3%83%AB%E3%82%A2%E3%83%B3/@13.7525734,100.487761,16z/data=!4m5!3m4!1s0x0:0x69fc3357641e5a44!8m2!3d13.7551736!4d100.4930645?hl=ja-JP</p>
		出典：タイ政府公式ホームページ	出典：JTBホームページ他	出典：JTBホームページ	出典：グーグルマップ
番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
2	スペイン王国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：立憲君主制(フェリペ6世) ・首都：マドリード ・名称：王宮 ・場所：Plaza de Oriente, Madrid(中心地) ・概要：1738年から1764年にかけてムーア人が築いたアルカーサル跡に建設された壮麗な宮殿。ルネサンスと擬古典様式が混ざった140m四方のどっしりした外観。現在国王は住んでおらず、公式行事などが催される迎賓館となっており、公式行事に使われている広間も見学できる。 ・広場：東側にオリエンテ広場がある。 	<p>名称：オリエンテ広場</p> <p>王宮の東側にバイレン通りがあり、その先にある広場。広場の中心にフェリペ4世騎馬像があり、周りを庭園が囲み、西ゴート王国やスペイン各王家の王の彫像が20体ある。フェリペ4世騎馬像は、イタリア人彫刻家ピエトロ・タッカが、ディエゴ・ベラスケスの描いた肖像を参考に頭部をつくり、胸部をフアン・マルティネス・モンタネスがつくった。1843年、イサベル2世の命令でオリエンテ広場に設置された。像は東を向いている。王宮と共に多くの観光客がツアーで訪れるが、行事の情報は少ない。モニュメントや緑地のある都心部の広場・公園として市民や観光客の憩いの場となっている。</p>		<p>https://www.google.com/maps/place/Monumento+a+Felipe+IV/@40.4183797,-3.7128117,18z/data=!4m6!3m5!1s0x0:0xda7a7c767d12f0c4!4b1!8m2!3d40.4183418!4d-3.7121865?hl=ja-JP</p>
		出典：JTBホームページ	出典: ウィキペディア(オリエンテ広場)	出典: ウィキペディア	出典：グーグルマップ

番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
3	オランダ王国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：立憲君主制(ウィレム・アレクサンダー) ・首都：アムステルダム ・名称：王宮 ・場所：アムステルダム中心地 ・概要：アムステルダムの旧市街の中心部にあるダム広場(Dam)。アムステルダムへの旅行者の殆どが立ち寄る機会があり、アムステルダムを代表する広場となっている。ダム広場の西方に位置する威風堂々とした王宮(Koninklijk Paleis)は、絵葉書にもよく登場する有名な建物である。アムステルダムの王宮はオランダ王室所有の建造物であるが、住居としてではなく王室行事に使用されている。元来、王宮はアムステルダムの市庁舎として建てられたものである。 	<p>名称：ダム広場</p> <p>ダム広場はアムステルダムの最も賑やかな町の中心にあり、多くの鳩、ストリートパフォーマンスなども見られる。様々なイベント・集会・マーケットが開かれ、多くの市民や観光客が訪れる。アムステルダムの地名の由来にもなっている、ダム広場は、1270年頃、アムステル川にダムが築かれたのが始まり。町の中心的な広場として、長い間栄えてきた。ダム広場は、1535年の洗礼教徒たちの暴動や、1935年頃の労働争議など数多くのデモの舞台にもなった。第二次世界大戦の終わりごろにはナチスドイツ軍が一般市民の銃殺を行ったのもこの広場。1960年から1970年代にかけては、学生たちのベトナム戦争反対運動、一番最近では1980年のベアトリクス女王の戴冠式の際もデモが行われた。ダム広場のナショナルモニュメントは、第二次世界大戦で亡くなった方を悼むため、1956年5月4日に建てられた。毎年、5月4日には、オランダ王室などが慰霊に訪れる。</p>		https://www.google.co.jp/maps/place/Dam,+Amsterdam,+%E3%82%AA%E3%83%A9%E3%83%B3%E3%83%80/@52.3730983,4.8920069,18z/data=!4m5!3m4!1s0x47c609c73b4b14ef:0x7e86dfc7e2ced272!8m2!3d52.3730701!4d4.8926473?hl=ja
		出典：オランダ政府観光局ホームページ	出典：オランダ政府観光局ホームページ	出典：オランダ政府観光局ホームページ	出典：グーグルマップ
番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
4	United Kingdom of Great Britain and Northern Ireland (グレートブリテン及び北アイルランド連合王国)	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：立憲君主制(エリザベスII世) ・首都：ロンドン ・名称：バッキンガム宮殿 ・場所：シティ・オブ・ウェストミンスター ・概要：ロンドンで最大の観光名所。ロイヤルウエディングの際、ロイヤルファミリーがバルコニーでご挨拶をされるなどロンドンの象徴とされている。宮殿はエリザベス女王のロンドンの公邸であり、女王の執務の場でもあり、さらにロイヤルファミリーが諸外国からの賓客を迎える際の迎賓館でもあり、王宮が実際に居室や執務の場として使われている珍しい宮殿である。宮殿正面広場には、ヴィクトリア記念碑が建立されており、その向こうではセント・ジェームズ・パークとトラファルガー広場につながるザ・マルのプラタナス並木がある。 	<p>名称：クイーンズ・ガーデンズ、セントジェームズパーク</p> <p>概要：宮殿前広場（クイーンズ・ガーデンズ）には王室の祝い事がある時は多くの市民が集まる。また、近衛兵の交代式の見学の場として多くの観光客が訪れる。セントジェームズパークは、バッキンガム宮殿の東側にある23ヘクタールの湖と森のある公園緑地であり、市民観光客の憩いの場として利用されている。聖ジェームズに捧げられたハンセン病療養所にちなんで名づけられたセント・ジェームズ地域の最南端にある。西側にはバッキンガム宮殿が、北側にはザ・マルが、東側にはホース・ガーズが、南側にはバードケイジ・ウォークがある。ヴィクトリア・メモリアルを擁するクイーンズ・ガーデンズのところでグリーン・パークと接しており、この記念塔の向かいにはバッキンガム宮殿の入り口がある。公園には小さな湖であるセント・ジェームズ湖があり、ウェスト島とダック島のふたつの島が浮かんでいる。</p>		https://www.google.com/maps/@51.5022349,-0.1402403,16z
		出典：バッキンガム宮殿公式ホームページ	出典：出典: ウィキペディア	出典：出典: ウィキペディア	出典：グーグルマップ

番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
5	中華人民共和国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：無し ・首都：北京市 ・名称：紫禁城 ・場所：北京市中心部 ・概要：中華人民共和国北京市に所在する明清朝の旧王宮である歴史的建造物。「北京と瀋陽の明・清王朝皇宮」の一つとしてユネスコの世界遺産（文化遺産）となっている。面積は 725,000m²あり、世界最大の木造建築群である。別称の故宮とは「古い宮殿、昔の宮殿」という意味で、現在は博物館（故宮博物院）になっている。天安門前には天安門広場がある。 	<p>名称：天安門広場</p> <p>中華人民共和国北京市の故宮天安門に隣接する広場。最大で50万人を収容でき、国家行事や歴史上の大事件の舞台となってきた。1954年に「千歩廊」の左右の官庁と倉庫群を撤去、中華門と長安左右門を撤去して現在の天安門広場が形成され、天安門広場建築に併せ人民英雄記念碑も建設されている。また1976年に毛沢東が死去すると、翌年にかけて広場の南の中華門跡地付近に毛主席紀念堂が建設された。平板で舗装された平面で広大な広場。幾度となく革命運動の舞台にもなり抗争が起こってきた。2013年10月28日、天安門前の金水橋に小型四輪駆動車が歩道に突っ込んで炎上し車内の3人と観光客2人が死亡した。</p>		https://www.google.com/maps/@39.9050414,116.3970829,16z
		出典：公式ホームページ	出典：出典: ウィキペディア	出典：出典: ウィキペディア	出典：グーグルマップ
番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
6	マレーシア王国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：立憲君主制 ※9つある州の首長が5年毎に交代で国王を務め、王宮に居住する特異な制度。 ・首都：クアラルンプール ・名称：王宮 イスタナ・ネガラ ・場所：クアラ・ルンプル ・概要：2011年に旧王宮から移築された新王宮で、国王が居住しているので、中の見学はできない。正門前の広場は観光スポットとして多くの人を訪れる。 	<p>名称：イスタナ・ネガラ王宮正門前広場</p> <p>・広場に特別な名称は無い。2011年に王宮がこの地に移築された。正門は閉ざされているが、美しい正門越しに豪華な王宮を眺めることができる。特に、出店やイベントは無いが、王宮正門前広場には大型バス18台と乗用車28台が駐車できる駐車場があり、多くの観光客が訪れる。正門周辺では、騎馬に乗った衛兵が警備を行っており写真撮影にも応じてくれる。毎朝8時の衛兵交代時の様子は特に人気がある。</p> <p>また、1か月続くイスラム教徒の断食月（ラマダン）の最終日に断食明けのお祝いをするハリ・ラヤ・アイディルフィトリ（オープンハウス）が行われ、イスラム教徒の人達は家族や親せき、友人を家に招いて食事やお菓子を振舞う。これを、王宮でも行われることがあり、この日はシャトルバスが都心から運行され、王宮内部を見学することができる。</p>		https://www.google.co.jp/maps/@3.1606931,101.6663128,1565m/data=!3m1!1e3?hl=ja
		出典：マレーシア政府観光局HP	出典：マレーシア政府観光局HP	出典：マレーシア政府観光局HP	出典：グーグルマップ

番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
7	モロッコ王国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：立憲君主制 ・首都：ラバト ・名称：ラバト王宮 ・場所：ラバト, モロッコ ・概要：首都ラバトで国王が居住する王宮。正門前の広場は観光スポットになっている。 	<p>名称：ラバト王宮正門前広場</p> <p>広場に特別な名称は無い。広場には、車寄せがあり、通りを挟んで大学の、エントランスと面している。露店、出店、日常的なイベントは無い。ラバト王宮は、1864年に建てられ、現国王ムハンマド6世（在位1999年7月23日～現在）とその家族が居住。王宮周辺の広い城壁内には、最高裁判所、国立大学、アフル・ファス・モスクなどがあり2000人以上の人々が住んでいる。王宮の正面にある国立ムハンマド5世大学では約2万人が学ぶ。観光スポットになっており、正門では衛兵が警護しているが、日中正門でパスポートを見せると前庭に入って見学できる。また、金曜には祈祷のためにモスクへ行く国王のパレードが行われ見ることができる。</p>		<p>https://www.google.com/maps/place/Royal+Palace+of+Rabat/@34.0024521,-6.8413596,650m/data=!3m1!1e3!4m5!3m4!1s0x0:0x328c8da1200b9600!8m2!3d34.0014648!4d-6.8408875?hl=ja</p>
		出典：モロッコ大使館HP	www.rabat-maroc.net	www.rabat-maroc.net	出典：グーグルマップ
番号	国名	王制・王宮の概要、広場の有無	王宮前広場の概要	王宮前広場写真	王宮前広場地図
8	オマーン王国	<ul style="list-style-type: none"> ・王制：絶対憲君主制 ・首都：マスカット ・名称：王宮 ・場所：マスカット, オマーン ・概要：国王の公邸であり、公式行事や賓客を迎えることに使用されている。王宮前の通りは広場として利用されている。国王は通常、地方の私邸王宮に居住している。 	<p>名称：広場に特別な名称は無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場は、南側の国立博物館・政府機関側から連なる通りとなっている。 ・要所要所に車止めがあり、通常車の通行はできない。 ・広場には、露店、出店、日常的なイベントは無い。 ・白く美しい王宮を見るために、多くの観光客が広場を訪れる。 		<p>https://www.google.com/maps/place/Al+Alam+Palace/@23.6141341,58.5946407,674m/data=!3m1!1e3!4m5!3m4!1s0x3e91f700cc620b71:0x1b473db0857319e3!8m2!3d23.6159113!4d58.5947013?hl=ja</p>
		出典：オマーン商工観光局	出典：オマーン商工省観光局	出典：オマーン商工省観光局	出典：グーグルマップ

















王国の一覧

No.	地域	国（略称）	王制	政治的影響力 （無,低,中,高）	称号・敬称	現在の王朝・王家	現在の君主	王宮広場 概要資料
1	アジア・太平洋	カンボジア	立憲君主制	無	国王陛下	ノロドム家	シハモニ国王	
2		タイ	立憲君主制	低	国王陛下	チャクリー王朝	ラーマ10世	○
3		日本	立憲君主制	無	天皇陛下	皇室	今上天皇(徳仁)	
4		ブータン	立憲君主制	無	国王陛下	ワンチュク朝	ワンチュク国王	
5		ブルネイ	立憲君主制	高	国王陛下	ボルキア家	ボルキア国王	
6		マレーシア	立憲君主制	無	国王陛下	クランタン州スルターン	ムハマド5世	○
7		サモア	選挙立憲君主制	低	国家元首殿下	トゥプア・タマセセ	トゥイアトゥア・トゥプア・タマセセ・エフィ	
8		トンガ	立憲君主制	中	国王陛下	トゥポウ家	トゥポウ6世	
9	ヨーロッパ	イギリス	立憲君主制	低	女王陛下	ウィンザー朝	エリザベス2世	○
10		オランダ	立憲君主制	低	国王陛下	オラニエ＝ナッサウ家	ウィレム＝アレクサンダー国王	○
11		スウェーデン	立憲君主制	無	国王陛下	ベルナドッテ朝	カール16世グスタフ	
12		スペイン	立憲君主制	無	国王陛下	スペイン・ボルボン朝	フェリペ6世	○
13		デンマーク	立憲君主制	無	女王陛下	リュクスボー家	マルグレーテ2世	
14		ノルウェー	立憲君主制	無	国王陛下	グリックスブルク家	ハーラル5世	
15		ベルギー	立憲連邦君主制	中	国王陛下	ベルジック家	フィリップ国王	
16		モナコ	立憲君主制	中	大公殿下	グリマルディ家	アルベール2世	
17		リヒテンシュタイン	君主制	高	公殿下	リヒテンシュタイン家	ハンス・アダム2世	
18		ルクセンブルク	君主制	高	大公殿下	ナッサウ＝ヴァイルブルク家	アンリ大公	
19	中東	オマーン	絶対君主制	高	国王陛下	ブーサイド朝	ハイサム国王	○
20		カタール	君主制	高	首長殿下	サーニー家	タミーム首長	
21		クウェート	立憲君主制	高	首長殿下	サバーハ家	サバーハ4世	
22		サウジアラビア	絶対君主制	高	国王陛下	サウード家	サルマン国王	
23		バーレーン	立憲君主制	中～高	国王陛下	ハリーファ家	ハマド国王	
24		ヨルダン	立憲君主制	高	国王陛下	ハーシム家	アブドゥッラー2世	
25	アフ	エスワティニ (旧スワジランド)	立憲君主制	高	国王陛下	ドラミニ家	ムスワティ3世	
26	リ	モロッコ	立憲君主制	低	国王陛下	アラウィー朝	ムハンマド6世	○
27	カ	レソト	立憲君主制	無	国王陛下	セーイソ家	レツィエ3世	

※ 居住の有無、広場の有無は現時点の情報での推定。今後変わる可能性あり。